

第33回全日本少年サッカー大会 記念歌

栄光の架け橋

誰にも 見せない 泪があった
人知れず 流した 泪があった
決して 平らな 道ではなかった
けれど 確かに 歩いてきた道だ

あの時 思い描いた 夢の途中で
何度も 何度も あきらめかけた 夢の途中

いくつもの 日々を越えて 辿り着いた今がある
だからもう 迷わずに進めばいい
栄光の架け橋へと

悔しくて 眠れなかった 夜があった
怖くて 震えていた 夜があった

もう駄目だと すべてが嫌になって
逃げ出そうとした時も
思い出せば こうしてたくさんの
支えの中で 歩いてきた

悲しみや苦しみの先に それぞれの光がある
さあ行こう 振り返らず走り出せばいい
希望に満ちた空へ

誰にも 見せない 泪があった
人知れず 流した 泪があった

いくつもの 日々を越えて 辿り着いた今がある
だからもう 迷わずに進めばいい
栄光の架け橋へと

終わらない その旅へと 君の心へ続く 架け橋へと

2009年8月2日(月)

大会初日 第2試合

兵庫FC 1 - 2 FCアルマ大垣

敗戦のショックを振り切るように
3日(火)バスの中で歌った

『栄光の架け橋』

自分自身を勇気づけ

仲間を勇気づけてくれた

この歌は

子どもたちの心の中に生き続け

永遠に歌い続けられるだろう!

全国大会ベスト8の原動力